

Ⅱ 協議事項

※ 下線部分が主な変更点になります。

1 地域・家庭の方策に対する支援について

CS	学校運営協議会の取組	広尾っ子応援団本部
広尾小	● 啓発資料配布（内容：家族の交流）	
豊似小	● 試行的にロボット牛舎の様子を撮影し、学校に提供する。	● 試行の結果を受け、可能な支援を事務局で検討
広尾中	● 啓発資料配布（内容：ICT の活用）	
広尾高校	● 決定は来年度の見通し	● 本年度の対応は無し

（参考：協議結果）

CS	方策	決定
広尾小	家庭の交流（話し合い）の充実について啓発	○
	地域の人材を活用した広尾町の歴史等の学習	
	「コロナ」の経験にかかわるタイムカプセルの作成	
豊似小	親の仕事をビデオで撮影して学校に提供	○
	収穫期の様子をドローンで撮影し学校に提供	
広尾中	スマホやコンピューターの有効な活用に関して地域・家庭へ啓発	○

2 学校の支援要望への対応

- ① これまで同様、支援要望を発信し情報収集を行う。また、教育活動の実施に向けて必要な連絡・調整を行う。
- ② 段階的に重点教育目標に沿った支援に焦点化していく。
- ③ 次年度から広尾高校に対しても、支援要望を受け小中学校と同様に対応する。

3 広尾っ子応援団登録・応援メッセージ活動の促進

- ① これまで同様、ウェブ掲載、説明会、資料配布等により啓発を図る。
- ② 広尾高校卒業生の登録を働きかける。（現3年生卒業時、OB・OG）
- ③ 家庭教育サポート企業、広尾っ子応援団タイアップ事業を啓発する。
参加会員の募集、合同調印式の実施（9～12月）

4 情報発信

- ① 広尾っ子応援団だより
これまで同様、各CSの学校運営の基本方針、具体的な取組について発信する。

② 広尾町公式ウェブサイト

これまで同様、広尾っ子応援団だより、学校運営協議会報告等を掲載する。

③ 放課後読書等ふれあい広場

地域住民が、コミュニティ・スクールの目的や活動について理解し、広尾っ子応援団の取組に容易に参加できる機会を提供するため、3学期から、場所・時間・運営等を次のように変更して実施する。

- 場所：広尾青少年研修センター（広尾町公園通北2丁目51）
- 時間：火曜日、木曜日の14：30～17：00（閉館日は除く）
- 運営：CS コーディネーター、安全管理補助員（当面は社会教育課）、ボランティア
- 備考：広尾高校生徒の参加を働きかけ、高校生のアイデアを生かす。（例：広尾高校コーナーの設置）

5 町民アンケート

（目的）

コミュニティ・スクール制度導入による学校と地域に対する町民の意識変化を把握し、今後の推進方針の確立や方策の改善に資する。

（内容） 平成30年5月実施のアンケート用紙と同じ

（期日） 令和2年11月

（方法） 全家庭配布、郵送による回答 ※ 広報ひろお11月号に折込
小・中・高全教職員配布、学校毎に集約

6 広尾っ子応援団本部体制の充実

（目的）

広尾高等学校における制度導入を踏まえ、地域学校協働活動（地域・家庭の方策の実施、学校の支援要望への対応）の充実を図る。

（内容）

① 社会教育主事の活用

1. 学校運営協議会における「地域・家庭の方策」の議論を踏まえた地域学校協働活動の計画・実施にあたる。
2. 広尾っ子応援団本部事務局に配置する。

② 協働活動サポーターの配置（1名）

1. CS コーディネーターと連携し、地域学校協働活動のための情報収集、連絡調整にあたる。
2. 放課後読書等ふれあい広場の活動支援にあたる。